

ガス給湯器

浴室内設置

# パックイン

外壁貫通設置形

133-4809型

133-4819型

型式名 WFK-1601SA  
WFK-1601SA-C

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪事業本部	〒550-0023	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	電話 0120-0-94817
南部事業本部	〒590-0973	堺市住吉橋町2-2-19	電話 0120-3-94817
北東部事業本部	〒578-8502	東大阪市稲葉2-3-17	電話 0120-5-94817
兵庫事業本部	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 0120-7-94817
京滋事業本部	〒600-8815	京都市下京区中堂寺粟田町1	電話 0120-8-94817

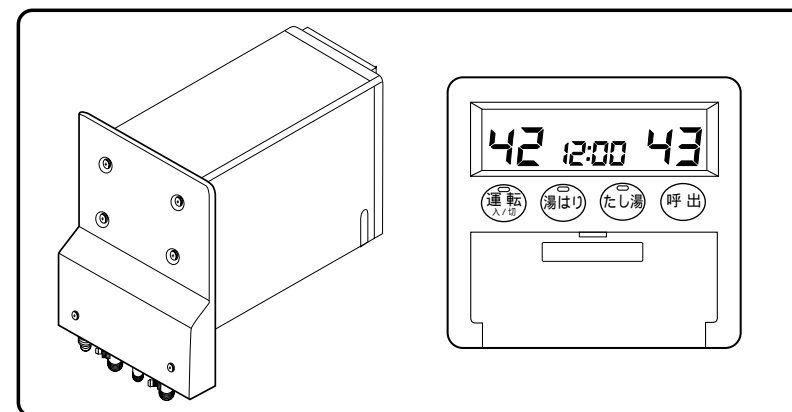
(所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。

## 取扱説明書



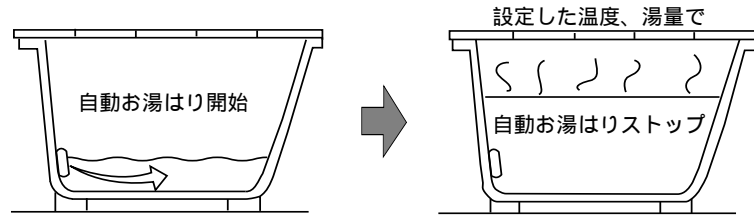
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

734T0757TE

# 特長・機能の紹介

- 1 スイッチポンでお湯はりができます。  
 ふたをして **湯はり** スイッチを押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。



- 2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。  
 リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37 ~ 60 まで設定できます。

## 目次

特に注意していただきたいこと	1~4
各部の名まえとはたらき	5~7
使用方法	
・初めてお使いいただくときは	8
・時計時刻の合わせかた	9
・節電機能(リモコンの表示を消したい)	10
・お湯の出しかた(浴室リモコンでの操作)	11~12
・お湯の出しかた(台所リモコンでの操作)	13
・湯はり運転(ふろの自動お湯ほりをしたい)	14~15
・たし湯運転(ふろのお湯の量を増やしたい)	16
・湯はり運転予約(予約した時刻にお湯ほりをしたい)	17~18
機器内部の凍結予防方法	19~20
点検・お手入れ	21~22
故障かな?と思ったら	23~25
長期間使用しない場合	26
寸法図	27
仕様	28
アフターサービスについて	29

# 特に注意していただきたいこと

機器を安全に正しくお使いいただくために  
 この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

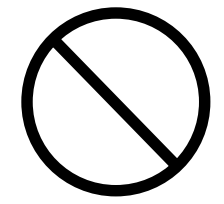
注意表示	意 味
危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行なう事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気厳禁		電源プラグを抜く
	発火注意		接触禁止		

**危険**

**機器の設置**  
 この機器は、屋外用(外壁貫通タイプ)ですので絶対に  
 屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。

**禁 止**

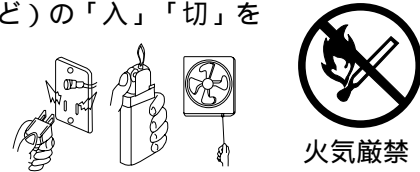
## 警告

### ガス漏れに気づいたとき

すぐに使用をやめてガス元栓を閉めてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

お買い求めの販売店やガス会社の係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」をしないでください。

ガス爆発の恐れがあります。

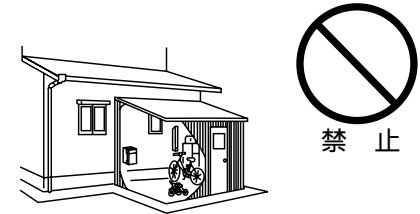


### 設置場所について

機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。  
設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。

この機器は壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。  
また、波板などによって、囲いをするともおやめください。

— 酸化炭素中毒の恐れがあります。



### やけどに注意

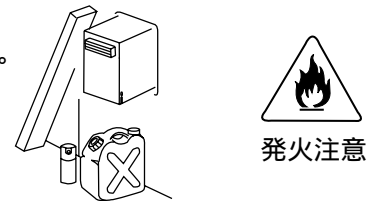
シャワーなどお湯を使用するときは、直接体にかかず湯温を確認してから使用してください。  
やけど予防のため。

入浴の際には、湯温を確認してから入浴してください。  
やけど予防のため。



### 火災予防

排気口の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。  
機器の周辺ではガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを使用しないでください。  
火災の原因になる恐れがあります。  
機器の周辺にスプレー缶を置かないでください。  
熱でスプレー缶の圧力が上がり破裂する恐れがあります。



### 子供に対する注意

浴そうのふるアダプターの付近で水に潜ったりしないでください。  
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## 警告

### 異常時の処置

ご使用中に普段と違った状態になったときや、地震、火災の場合、すぐに使用をやめて電源プラグを抜き、ガス元栓を閉めてください。23～25ページの「故障かな?と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。

### 使用電源の確認

AC100V(50/60Hz)以外の電源では使用しないでください。

### 使用ガスの種類の確認

ガスの種類を確かめてください。  
機器本体（銘板）に表示してあるガスの種類以外では使用しないでください。

故障や燃焼不良、過熱の原因となります。  
ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。  
転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

メーカー型式 設置方式 ガスの種類及びグループ ガス消費量 定格電圧 定格消費電力 定格周波数 製造年月日及び製造番号 製造業者名	例 都市ガス用13A LPガス用LP
	例 01.3-00001 製造年月 製造番号

## 注意

### 混合水栓使用時のご注意

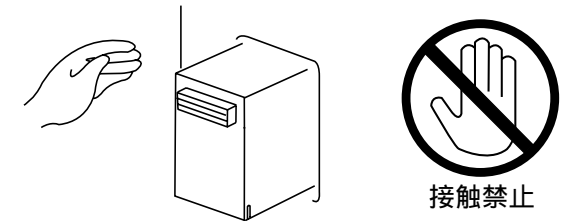
高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。  
やけどの恐れがあります。

高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。



### やけどにご注意

使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



### 用途について

この機器は、給湯・シャワー・お湯はり以外の用途には使用しないでください。  
思わぬ故障の原因になります。

### 運転停止（消火）時のご注意

燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。  
機器の故障の恐れがあります。

### 入浴時のご注意

お湯はり中やお湯はり後は、浴そうのお湯の温度が上部と下部で差があることがありますので入浴時は注意してください。

# 各部の名まえとはたらき

## お願い

### ガス事故防止

機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。  
おやすみやお出かけ前に、機器の消火を確認してください。

### 業務用としての使用禁止

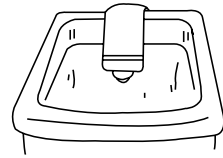
この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

### 入浴時のご注意

浴そう内のふるアダプターをタオルなどで塞ぐと、お湯はり不良となり、故障の原因になることがあります。



禁止

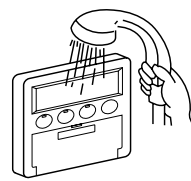


### リモコンの掃除

浴室リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については21ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。



禁止

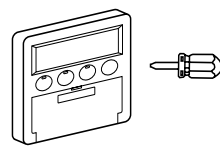


### リモコンの分解禁止

リモコンは分解しないでください。



分解禁止



### 飲用についてのご注意

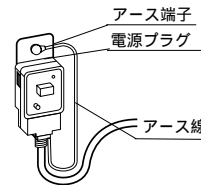
しばらく使わなかったとき、はじめにでくる水は飲んだり調理に用いないでください。

### 電気事故防止

電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。  
プラグにほこりなどが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。  
アース線をアース端子に取付けてください。  
感電する恐れがあります。



アース接続

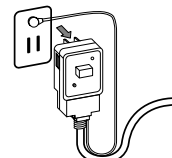


### 雷が発生しているとき

雷が発生しているときは、使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。  
機器の故障の恐れがあります。



電源プラグを抜く



### 積雪時の注意

積雪で給排気口が塞がれているようなときは、不完全燃焼の原因になりますので使用しないでください。

### 長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、26ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

### 停電のとき

この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。  
停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。  
停電復帰後も自動的に運転されませんので、8~18ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

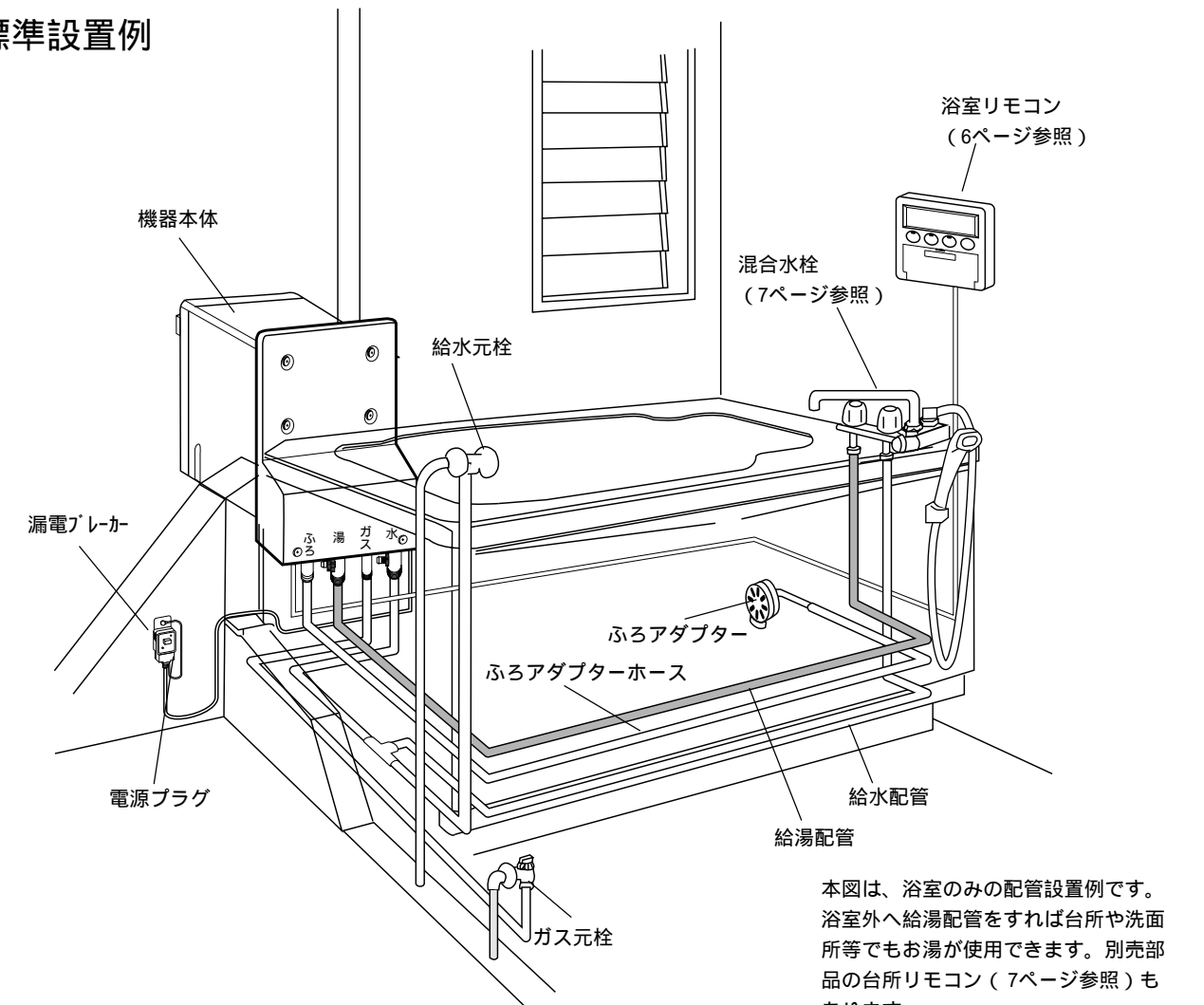
### 機器内部の凍結予防について

機器内部の凍結予防は、19~20ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

### 市販の補助用具使用について

この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。  
機器の異常の原因になることがあります。

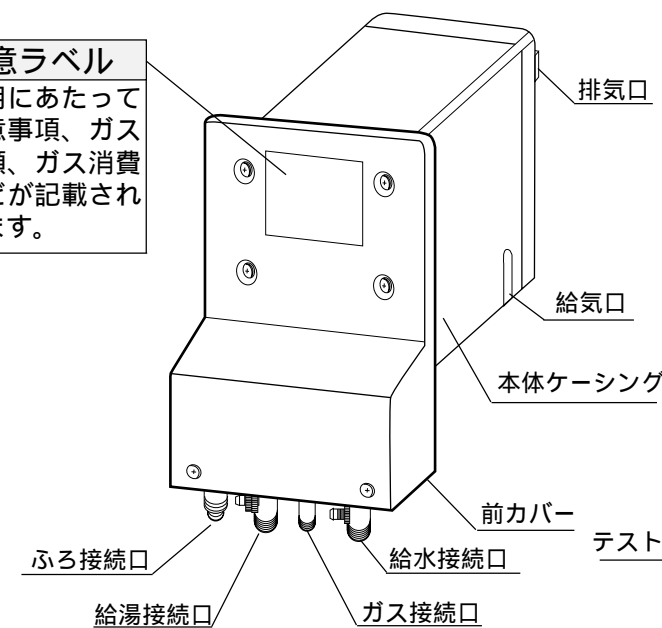
## 標準設置例



本図は、浴室のみの配管設置例です。浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。別売部品の台所リモコン（7ページ参照）もあります。

## 本体

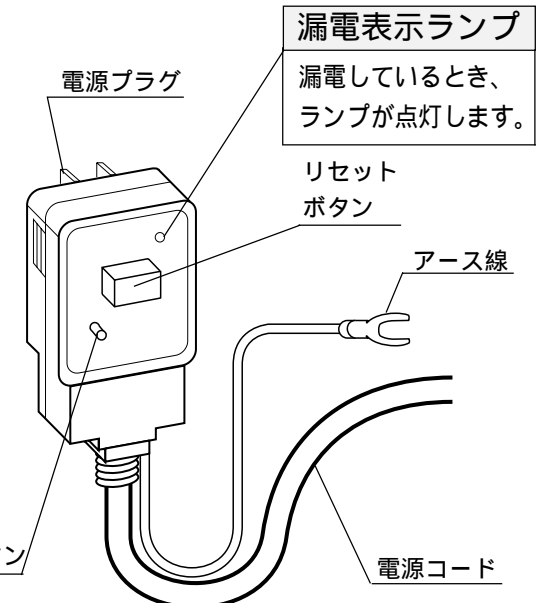
**注意ラベル**  
ご使用にあたっての注意事項、ガスの種類、ガス消費量などが記載されています。



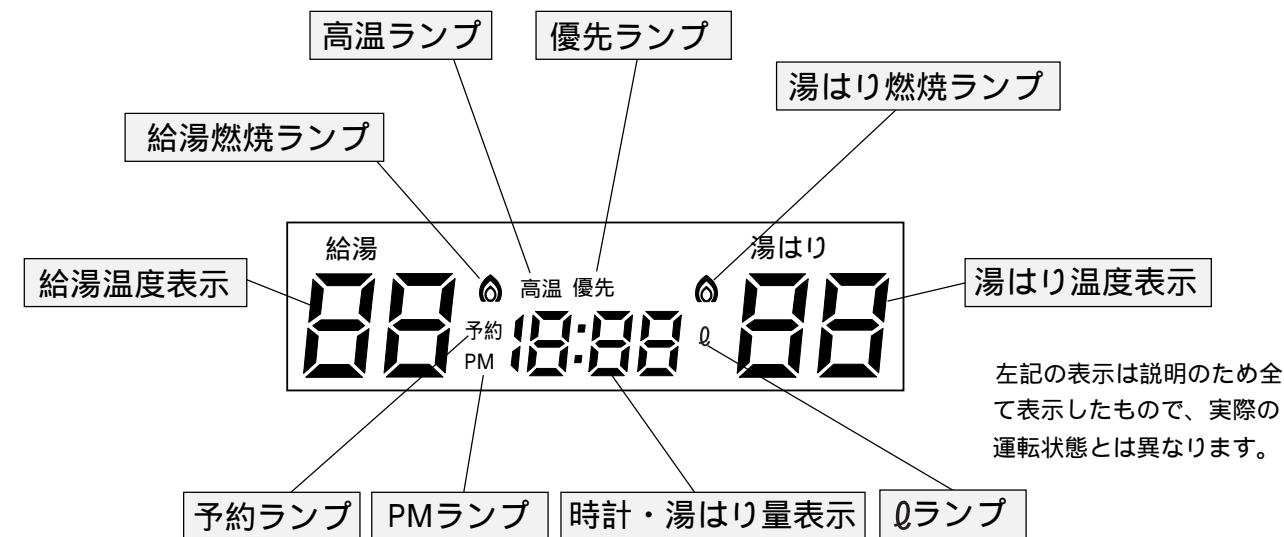
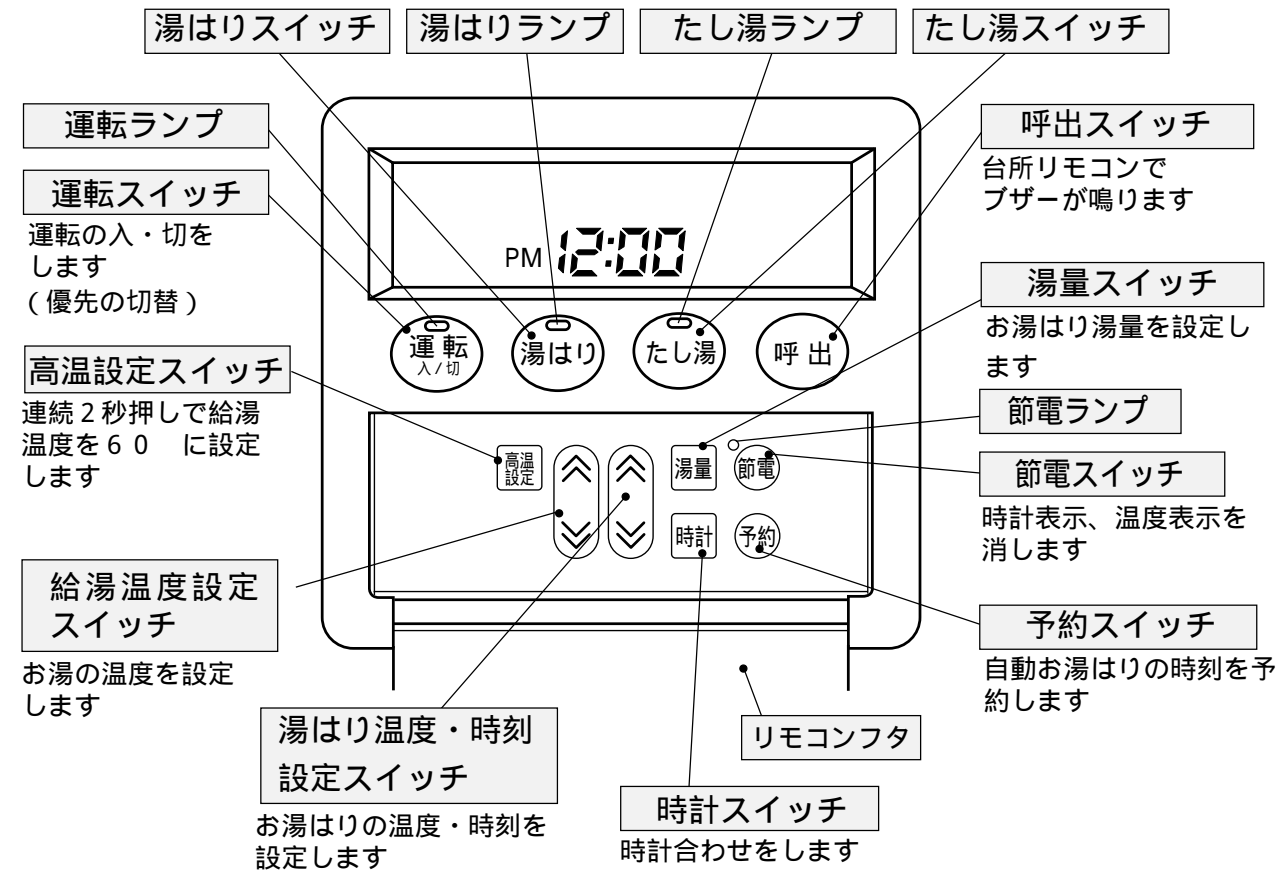
## 漏電ブレーカー

**漏電表示ランプ**

漏電しているとき、ランプが点灯します。



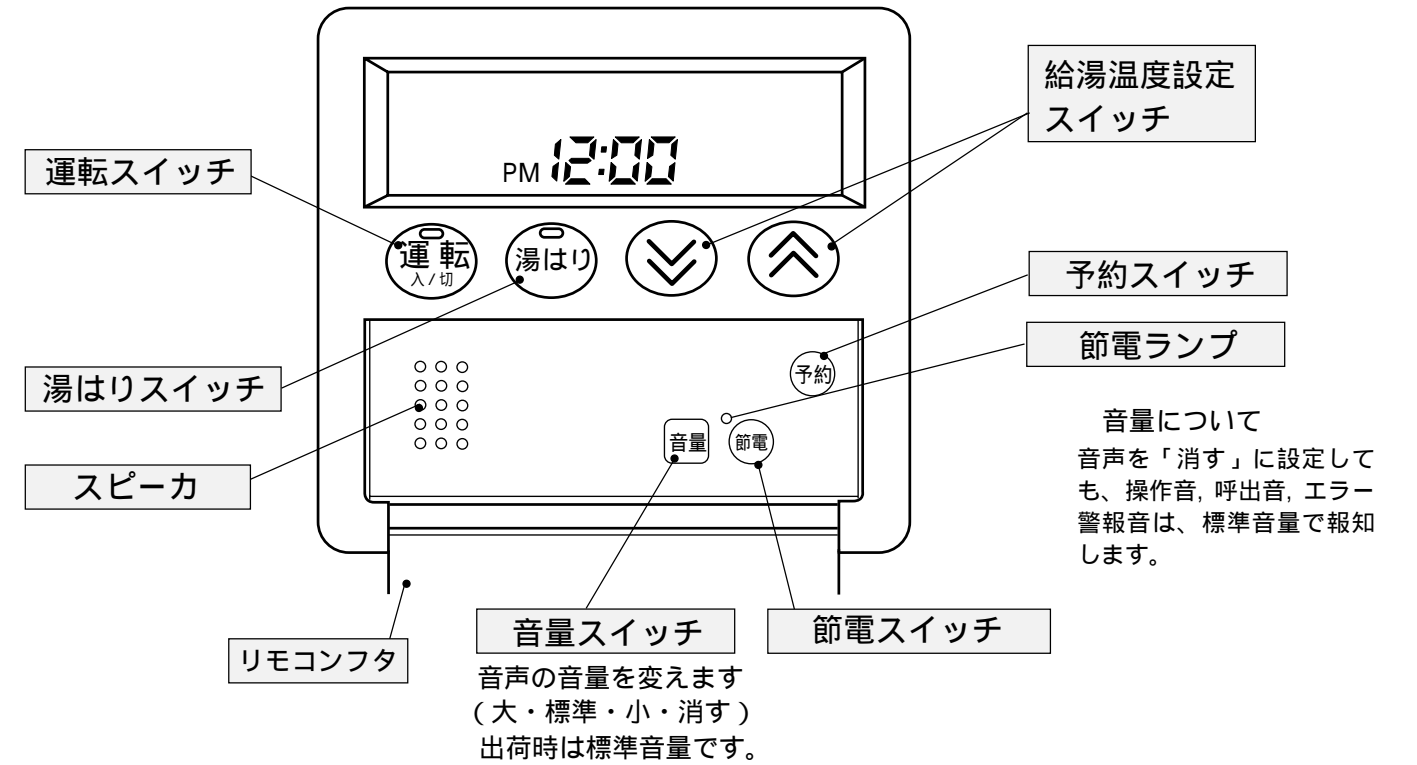
## 浴室リモコン (別売部品 138-0009)



### リモコン使用上の注意点

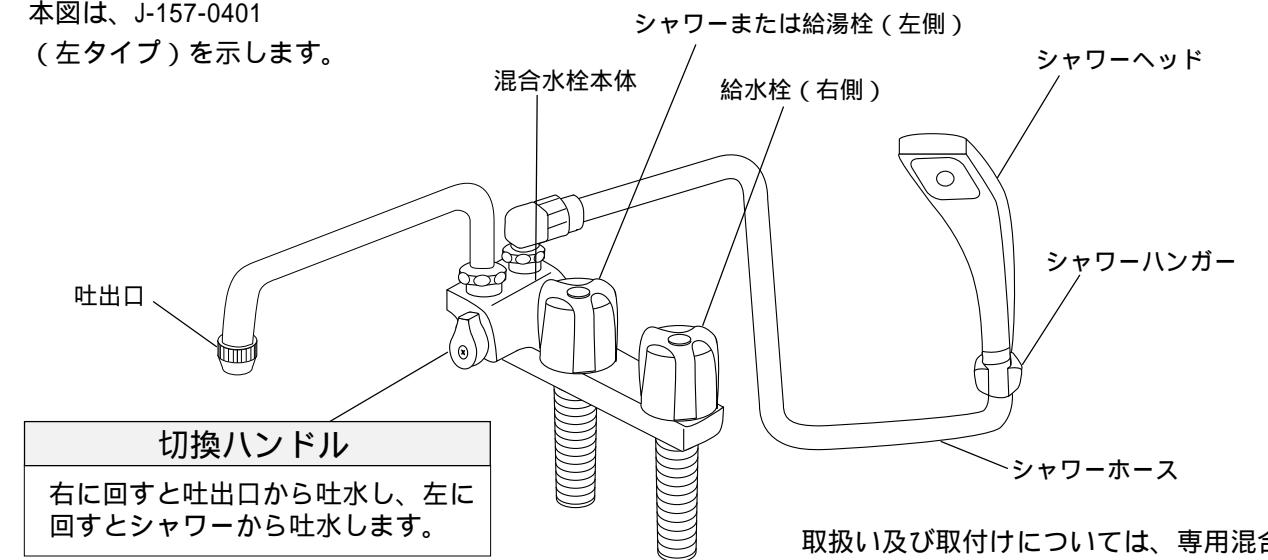
スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけられないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

## 台所リモコン (別売部品 138-0008)



## 専用混合水栓 (別売部品 シャワースセット J-157-0401, J-157-0402)

本図は、J-157-0401  
(左タイプ)を示します。



### 一時止水機能付混合水栓使用時の注意点

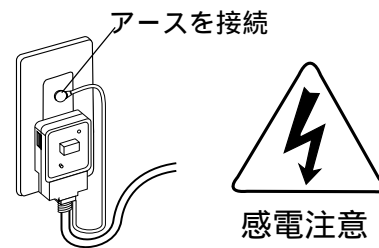
専用混合水栓でなく一時止水機能を持つ混合水栓をお使いの場合は、給湯・シャワーを使い終わった後に切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めておかないで給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。一時止水がきかなくなる恐れがあります。

# 使用方法 初めてお使いいただくときは

## 使用前の確認

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1. 給水元栓をいっばいに開けます。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認してください。
3. ガス栓を全開にします。
4. 電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで確実にコンセントに差し込みます。  
アース線をアース端子に取付けてください。



### !!! が点滅したら

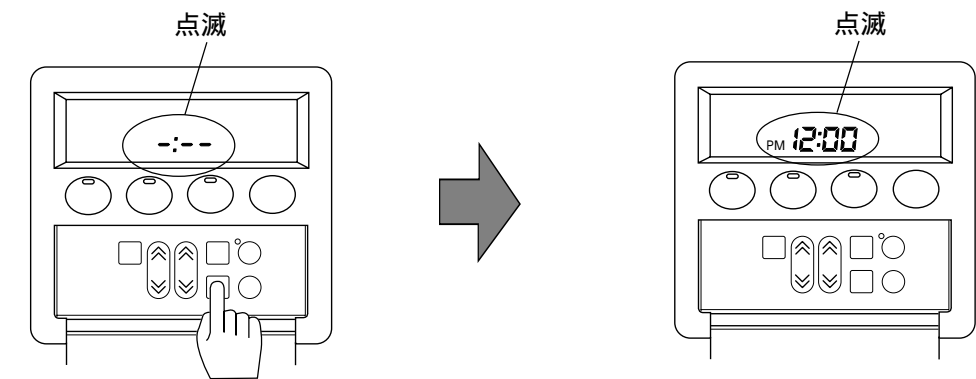
はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、浴室リモコンおよび台所リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコード **!!!** が点滅し給湯不着火をお知らせします。このような場合は、いったん給湯栓又はシャワー栓を閉じ、**運転** スイッチを押してエラーを解除し、再度 **運転** スイッチを押し、給湯栓を開ける操作を、2～3回繰り返してください。

# 使用方法 時計時刻の合わせ方

## 現在時刻の合わせ方

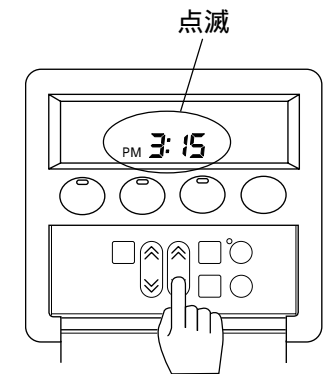
### 1. **時計** スイッチを押します。

時計表示が点滅します。初回設定時は、「PM 12:00」が点滅表示します。  
(例、電源投入時、または停電復帰時は、「- : - -」点滅表示になっています。)



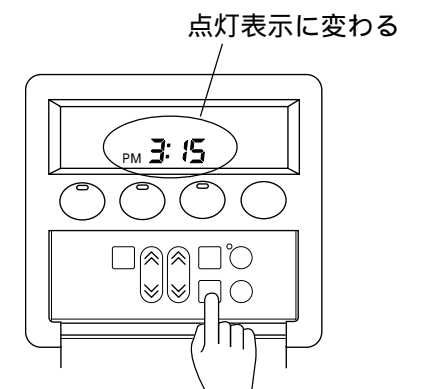
### 2. 「湯はり温度・時刻」設定スイッチを押し、 現在時刻を設定します。

押す度に、1分ずつ変わります。  
押し続けると、10分ずつ早送りできます。  
(例、PM 3時15分にセットする場合)



### 3. もう一度、**時計** スイッチを押します。

点滅が、点灯表示に変わり、  
時刻設定が完了します。



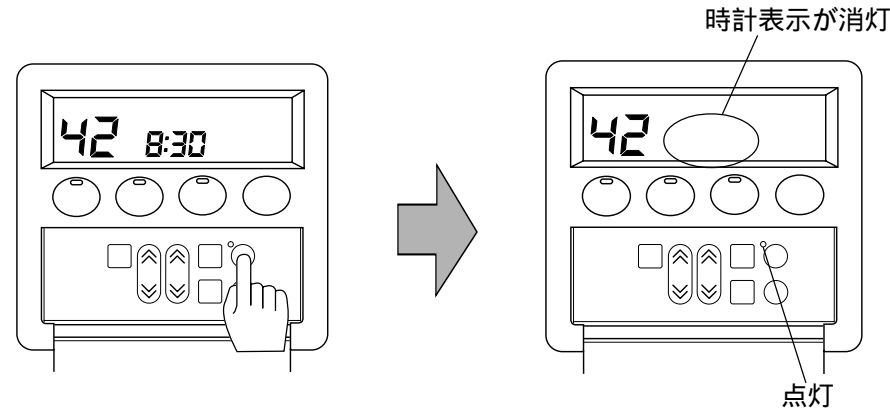
### 時刻設定は、浴室リモコンで

現在時刻の設定スイッチは、浴室リモコンにあります。台所リモコンでは、時刻設定はできません。  
現在時刻の設定がされていないと、「湯はり運転予約」機能は動作しません。

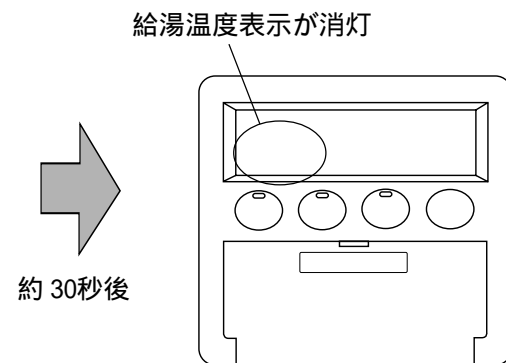
使用方法

1. 節電スイッチを押します。

「節電ランプ」が点灯します。  
同時に、時計表示が消灯します。



2. 約 30秒後に、給湯温度表示が消灯します。



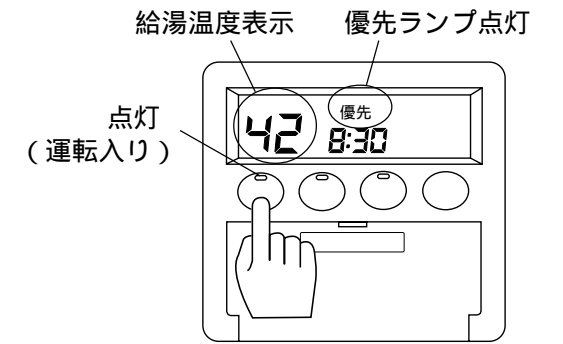
節電機能ご使用上の注意点

① 節電スイッチ「入・切」に関係無く使用できます。  
安全のため、一時的に給湯温度表示を復帰し点灯します。  
・台所やシャワーなどで給湯をご使用のとき。  
・給湯温度設定が変更されたとき。  
湯はり温度表示は消灯しません。  
台所リモコンとセットでお使いの場合、リモコン別に節電機能を使用できます。  
節電動作中でも、運転ランプ・燃烧ランプ・優先・高温などのランプは消灯しません。

お湯を使いたい 器具運転開始

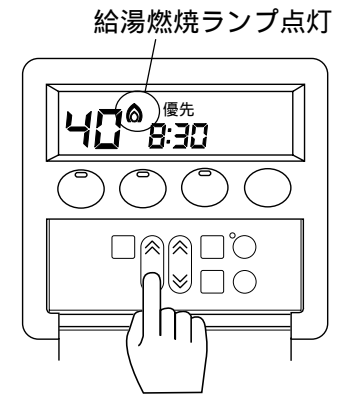
1. 運転スイッチを押します。

「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。  
給湯温度が表示されます。



2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。  
(一度設定すると記憶します)

給湯温度の表示は目安ですが、37～50、60 の15段階に設定できます。(37～50 間は、1 きざみ)  
スイッチは1回押すたびに、1段階ずつ調節できますが、  
↑スイッチを押し続けると45 まででは速く動きます。



3. シャワー栓または給湯栓を開けます。

燃烧を開始し、「給湯燃烧ランプ」が点灯します。  
しばらくしてお湯が出ます。  
(お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。)  
台所リモコンとセットでお使いの場合、台所リモコン側の  
「給湯燃烧ランプ」も点灯します。

(例: 42 40)

シャワー・給湯停止 器具運転停止

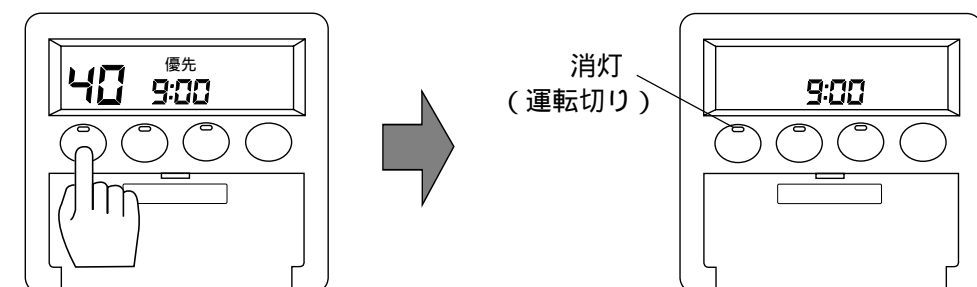
1. シャワー栓または給湯栓を閉めます。

燃烧が止まり、「給湯燃烧ランプ」が消灯します。  
「優先ランプ」はそのまま点灯しています。  
(再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。)



2. もう一度 運転スイッチを押します。



浴室リモコンの「運転ランプ」、「給湯温度表示」、「優先ランプ」が消えます。  
台所リモコンとセットでお使いの場合、台所リモコンの 節電スイッチを押しても運転停止できます。





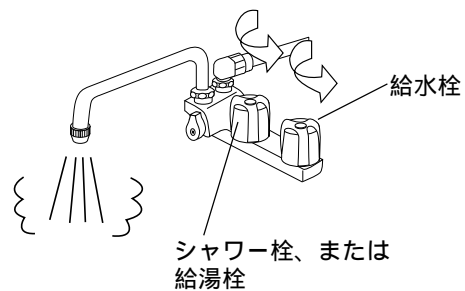
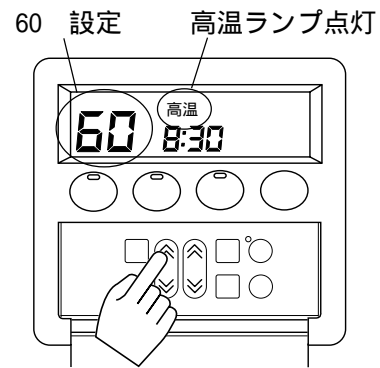
# 使用方法 お湯の出しかた (台所リモコンでの操作)


## シャワーの湯量が少ないとき (低給水圧)

給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水をミキシングして使用することをお勧めします。この場合、 スイッチまたは、 スイッチ 2 秒押しで湯温を 60 に設定して使われることをお勧めします。

湯と水をミキシングして使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的易しく操作できます。

60 設定にすると、「高温ランプ」が点灯します。



 スイッチの 2 秒押しで湯温 60 に設定できます。浴そうの残り湯に給湯栓から差し湯するときなど、高温のお湯を使用したい場合に、お使いください。



## やけどに注意

やけどに注意

湯温を確認してから使用してください。

混合水栓使用時のご注意


高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。

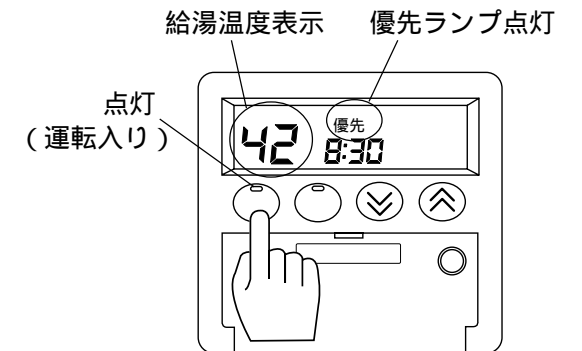
高温で使用后、またすぐに出湯する場合には熱い湯がでる恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

## 運転を再開する場合

運転停止後再び「運転」スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が 37 ~ 50 のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が 60 であったときは安全のため 42 に戻ります。

## お湯を使いたい

1.  スイッチを押します。  
「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。  
給湯温度が表示されます。

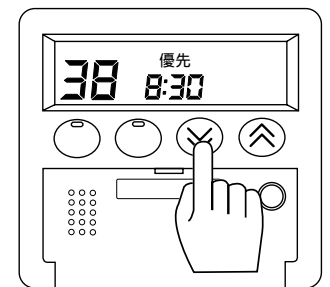


2. 給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。  
(一度設定すると記憶します。浴室リモコンとは別の温度に記憶できます。)


台所リモコンの   スイッチを押せば、温度設定ができます。(例、42 38)

ふろの温度は、台所リモコンでは変更できません。



台所リモコンで 60 に設定すると浴室リモコンで「ピピピピ」とブザーで報知し、高温設定されたことをお知らせします。



3. 台所、または洗面所の給湯栓を開けます。


「給湯燃焼ランプ」 が点灯します。  
しばらくしてお湯が出ます。

4. 使用後、給湯栓を閉めます。


お湯が止まると「給湯燃焼ランプ」 が消灯します。  
 スイッチを押すと、器具の運転が停止します。

## 「優先」ランプが点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。


使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をして下さい。

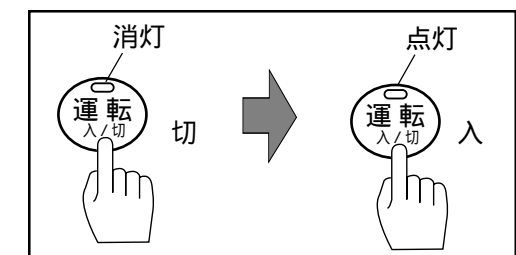
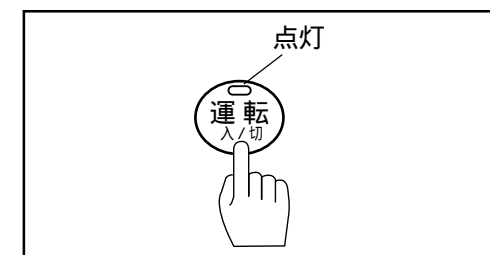
( スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。)

浴室リモコンを「優先」にしたい

浴室リモコンの  を押す

台所リモコンを「優先」にしたい

台所リモコンの  をいったん切り、再度入れる。



すでに優先になっている場合は、運転「切」になります。



# 使用方法 湯はり運転...ふろの自動お湯ほりをしたい

## 運転前の準備

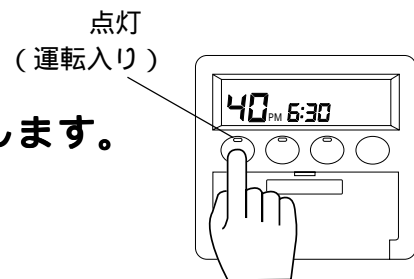


### ⚠️ 排水栓はしっかりと

浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯ほりした場合、お湯はり開始後約1時間経過すると自動的にお湯ほりを停止します。

## 湯はり運転の使用方法

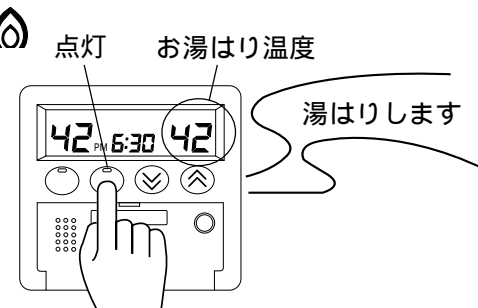
**1** **運転**スイッチを押し運転入りにします。  
「運転ランプ」が点灯します。



**2** **湯はり**スイッチを押します。

「湯はりランプ」が点灯し、「湯はり燃焼ランプ」が点灯し、自動的にお湯ほりが開始されます。

台所リモコンをご使用の場合は、湯はり運転開始時に、リモコンから「湯ほりします」と、音声でお知らせします。



**3** **湯量**スイッチでお湯はり湯量を設定します。

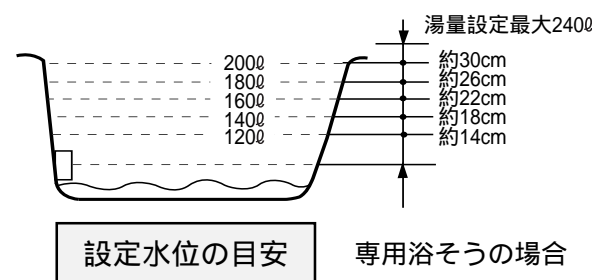
**湯量**スイッチを押す毎に希望の湯量を1200～2400の7段階まで選べます。

一度設定すれば記憶します。

(電源投入時または停電復帰後は、1400となります)

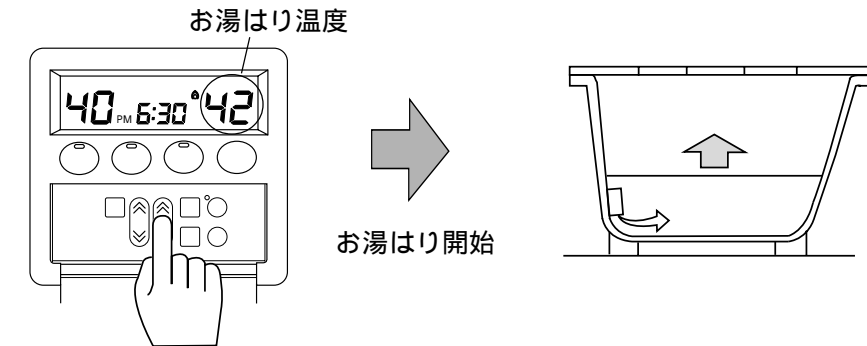
湯量の目安は、専用浴そうの場合  
ふろアダプターの中心から上方約  
14cm (1200) から約4cm (200)  
きざみの7段階 (2400) です。

出荷時は1400です。



**4** 湯はり温度設定スイッチでお好みのお湯はり温度に設定します。

お湯はり温度は、目安ですが、約37から48の範囲で1ずつ設定できます。

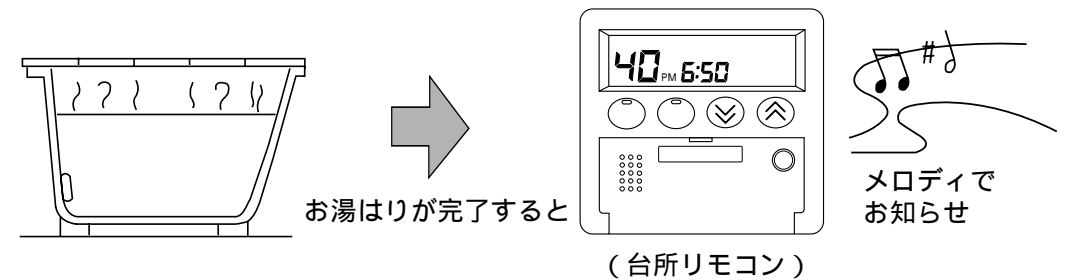


**5** 設定湯量になると自動でストップ。(ブザーでお知らせ)

おふろ設定湯量までお湯ほりを完了すると、お湯が止まります。

湯はりランプ、湯はり温度、湯はり燃焼ランプが消灯し、リモコンからブザーでお知らせします。

台所リモコンとセットでお使いの場合は、台所リモコンから、メロディでお知らせします。



### ⚠️ 湯はり運転ご使用上の注意

電源投入時または停電復帰後の湯ほりの温度は、42 設定となっています。  
浴そうに残り湯がある場合は、その水量分を見込んで湯ほり量と湯ほり温度を設定してください。

### ⚠️ お湯はり中の給湯使用について

自動お湯はり中でも給湯栓を開けるとお湯を使用することができます。給湯栓を開けると給湯温度は給湯温度表示部に表示された温度となります。

この時、自動お湯ほりは、いったん停止して「湯はり燃焼ランプ」が消灯し、「給湯燃焼ランプ」が点灯します。給湯使用が終わると自動お湯ほりを再開します。

給湯を使用した時間だけ、自動お湯はり時間は長くなります。

配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。

冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。

## 使用方法

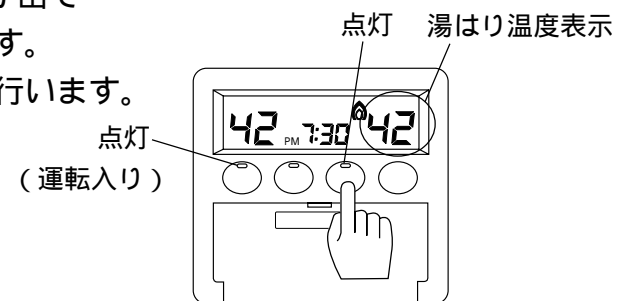
1. **運転** スイッチを入りにしてから、**たし湯** スイッチを押します。

「たし湯ランプ」、「湯はり温度表示」が点灯します。

浴そうのふるアダプターから、お湯が出て

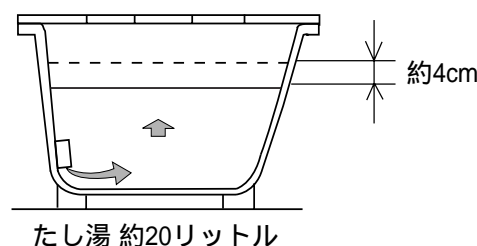
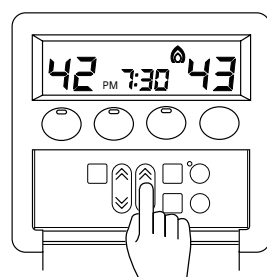
「湯はり燃焼ランプ」が点灯します。

約20リットルのたし湯（湯はり）を行います。



2. たし湯温度を変更できます。

湯はり温度設定スイッチで、たし湯温度が変更できます。(例、42 43)



### ⚠ たし湯運転ご使用上の注意点

たし湯温度は、記憶されません。次回のたし湯運転開始時のたし湯温度は、湯はりの温度になります。たし湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度で給湯します。この時たし湯量は設定の約20ℓに対して若干変動します。

たし湯中に **たし湯** スイッチを押すと、たし湯運転を終了します。

## 運転前の準備

- 1 排水栓を閉めます。お湯ほりをする前に必ず排水栓を閉めます。



必ず行う



- 2 浴そうにふたをします。この機器は浴そうにふたをしたままお湯ほりができます。

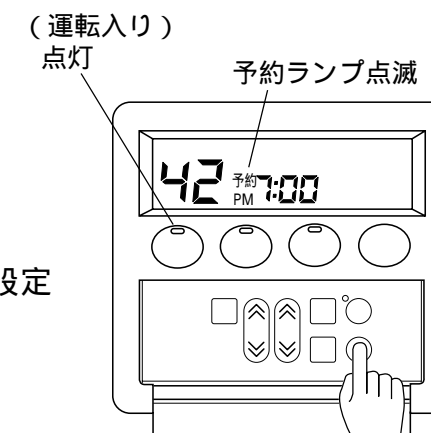


## 予約時刻設定 浴室リモコンでの操作

1. **運転** スイッチ入りにしてから、**予約** スイッチを押します。

「予約ランプ」が、点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が表示されます。

(電源投入時、または停電復帰時は、「PM7:00」表示になっています。)



2. 「湯はり時刻」設定スイッチを押し、予約時刻（入浴したい時刻）を設定します。

押す度に、1分ずつ変わります。

押し続けると、10分ずつ早送りできます。

(例、PM8時に予約)



3. もう一度、**予約** スイッチを押します。

点滅が点灯表示に変わり、少しして時計表示に戻ります。現在時刻がっているか確認してください。

湯はり運転予約待機となります。



# 機器内部の凍結予防方法

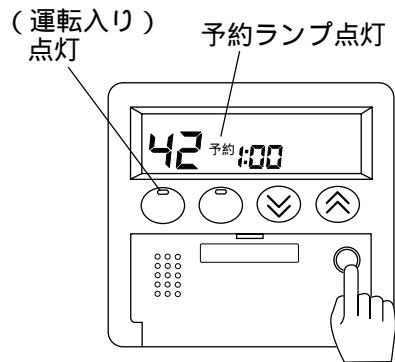
## 予約設定

台所リモコンでの操作

台所リモコンでも、湯はり運転予約ができます。  
予約時刻の変更はできません。

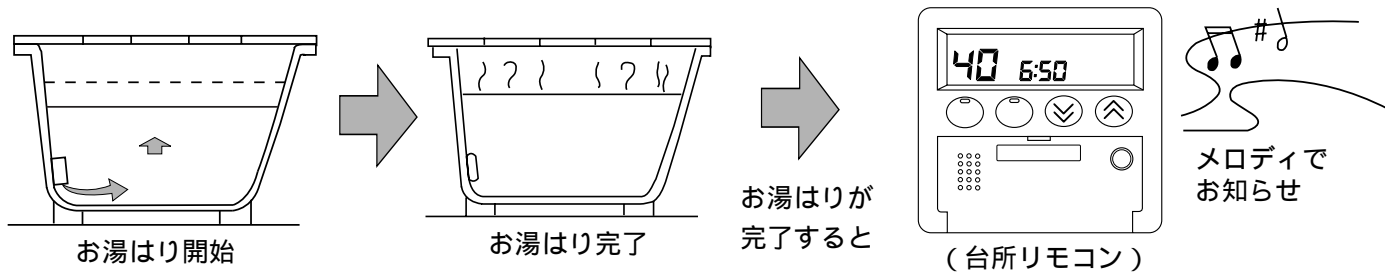
1. **運転**スイッチ入りにしてから、**予約**スイッチを押します。

「予約ランプ」が、点灯します。  
予約時刻が表示され、少しすると、現在時刻に戻ります。現在時刻を確認してください。  
湯はり運転予約待機となります。



## 予約運転の開始

予約した時刻の30分前になると、「湯はりランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。  
(現在時刻から、30分以内に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、自動お湯はりを開始します。)  
自動お湯はりが終了すると、ブザー（台所リモコンからは、メロディ）にてお知らせします。



### ⚠ 湯はり運転予約機能ご使用上の注意点

現在時刻の設定がされていないと「湯はり運転予約」機能は動作しません。（9ページ参照）

湯はり運転予約待機中に、予約解除するときは、**予約**スイッチを押してください。

湯はり運転予約待機中に、リモコン操作で、運転切り、または、たし湯運転を開始すると、予約は解除されます。

湯はり運転予約時の、湯はり湯量・温度は、湯はり運転時の湯量・湯はり温度になります。変更する場合は、一旦、**湯はり**を入りにし、湯量・湯はり温度を変更し、**湯はり**を切りにした後、湯はり運転予約の設定を行ってください。

湯はり湯量は、**運転**スイッチ入りの状態で変更ができます。

湯はり終了ブザーは、予約時刻にかかわらず、湯はり完了時に報知します。

浴そうに、前日の残り湯が残っている場合は、その水量分を見込んで湯量と湯はり温度を設定してください。残り湯の量によっては、最低の湯量設定120ℓでも浴そうからお湯があふれる場合があります。

湯はり運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。

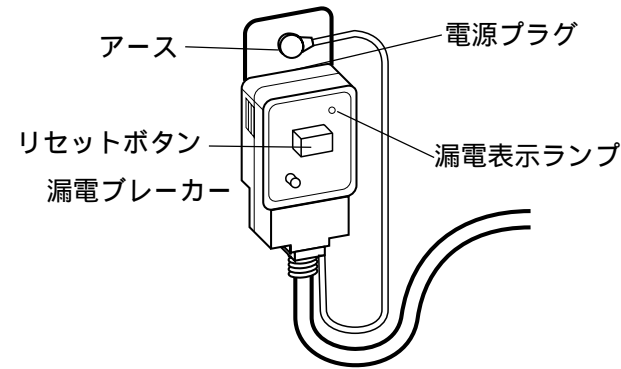
水圧や水温などの使用条件により、予約した時刻に湯はりが終了しない場合があります。

## 凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。  
冷え込みが厳しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1. 通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

電源プラグをコンセントに入れた状態にします。  
抜けていると作動しませんので、注意してください。  
漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。  
点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。（22ページ参照）



この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。  
凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

### ⚠ 凍結予防に関する注意点

ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時 - 15℃ まで、有風（4m/秒）時 - 10℃ までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。

ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。配管には保温材を巻いて凍結予防をしてください。

この機器は外気温が - 15℃ 以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。（26ページ（長期間使用しない場合）参照）



# 点検・お手入れ

機器を安全に、快適にお使いいただくために・・・

## 2. 冷え込みの厳しいときや停電のときの予防方法

通水による方法

(1) 浴そうの水をぬきます。

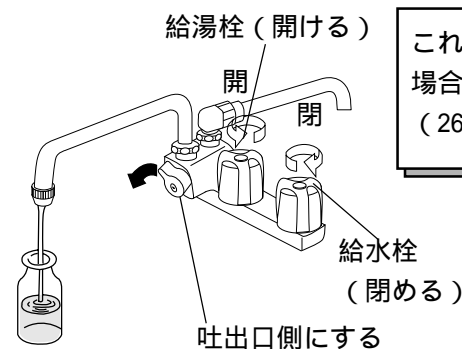
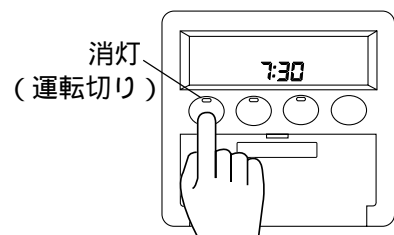


(2) リモコン (運転) スイッチを切りにします。

「運転ランプ」が消灯します。

(3) ガス栓を閉めます。

(4) おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc (牛乳びん2本分) ぐらいの水を浴そうに流し込みます。(流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。)



これらの処置をしても凍結する恐れがある場合は、水抜きを行なってください。(26ページ(長期間使用しない場合)参照)



### ❗凍結したときは

凍結により、給湯栓・シャワー栓・ふろアダプターから水が出ないときは、使用しないでください。凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。凍結により、機器が破損した場合、高額な修理費用がかかります。(有料) 特に寒い場合など、給湯が可能であっても、ふろ配管が凍結している可能性があります。浴そうへの最初のお湯は、給湯栓を開け吐出口から行ってください。万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスまでご連絡ください。



お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。



機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

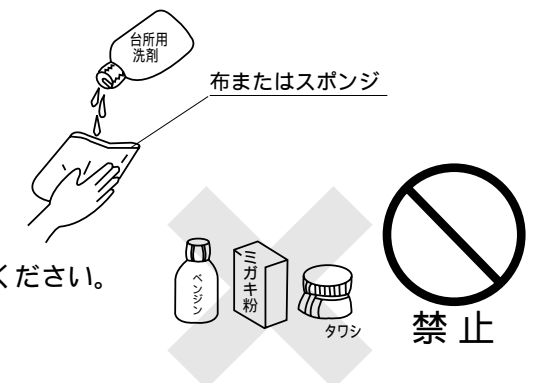
### 点検のポイント

機器の上やまわりに燃えやすいものはありませんか。  
給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。  
機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。  
ガスのにおいはしませんか。  
運転中に機器から異常音が聞こえませんか。  
機器の外観に異常は見られませんか。  
漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。



### ❗お手入れ時の注意

機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくておそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとったあと、からぶきします。ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。リモコンの故障の原因になります。ふろアダプターのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。変色、変形の恐れがあります。浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。



# 故障かな？と思ったら...

## 漏電ブレーカーの点検

漏電ブレーカーが正しく作動することを確認するため、次の操作を行なってください。

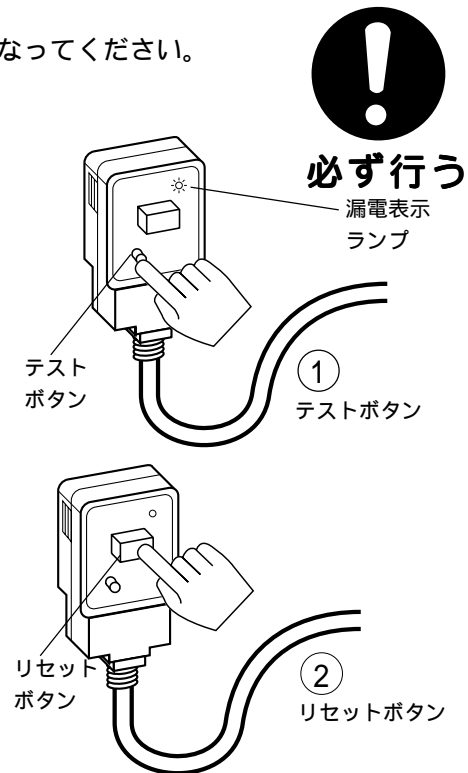
- ① テストボタンを押します。 漏電表示ランプが点灯します。
- ② リセットボタンを押します。 漏電表示ランプが消灯します。

月に1回以上の作動確認を行なってください。

正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。

再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。作動確認後は設定していた温度、湯量、現在時刻、湯はり運転予約が初期値になります。

- ・給湯温度 42
- ・湯はり温度 42
- ・お湯はり湯量 140ℓ
- ・現在時刻 - : - -
- ・湯はり運転予約時刻 PM 7:00



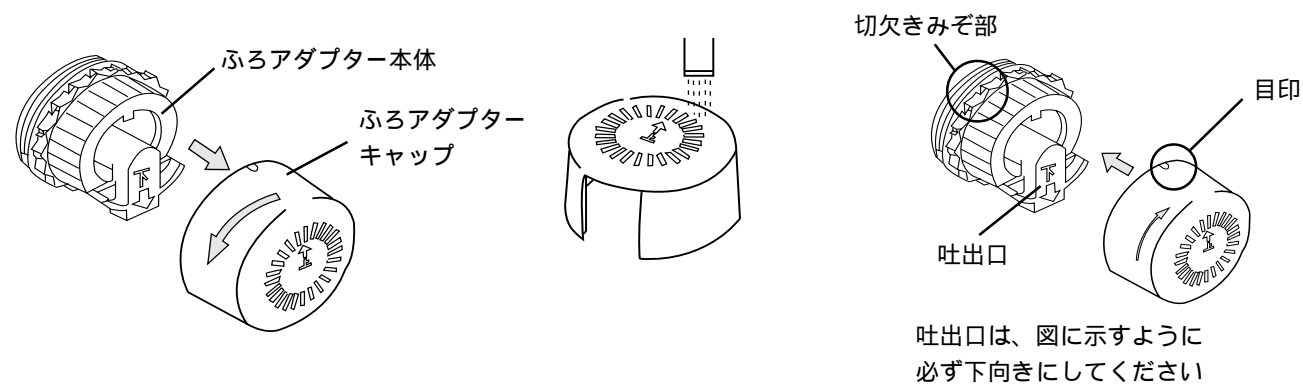
## ふるアダプターのお手入れ

ふるアダプターの汚れや詰まりのお掃除は、ふるアダプターキャップを外して水で洗います。月に1回以上、掃除してください。ふるアダプターが詰ったまま使用しますと故障の原因になります。



### 必ず行う

- ① ふるアダプターキャップを左へ少し回してから引き外します。
- ② ふるアダプターキャップを水洗いします
- ③ ふるアダプターキャップを上マークが上になるように差し込み、右へ少し回して取付けます。



ふるアダプターキャップの取り付けは、上マークが上になるようにし、キャップの目印の裏にあるツメがふるアダプター本体のほぼ真上にあたる切欠き部のみぞに合うように差し込み、右へ少し回して止めます。

## 次のことをお調べください

現象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。(22ページ) 停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	ガス元栓が全開になっていますか。給水元栓が全開になっていますか。断水ではありませんか。リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。凍結していませんか。(19,20ページ)
あついお湯が出ない	リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。ガス元栓が全開になっていますか。給湯またはシャワーを2ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。水量を絞りすぎていませんか。(夏) 給水元栓が全開になっていますか。
設定した温度、時刻などが記憶されていない	停電が起きていませんか。1秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度時刻、水位が初期値になります。(22ページ)

## エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処 置
1 1 1 1 2 1	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
1 4 0 1 4 0	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
1 0 1	ファンほこりづまり警告	お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、すぐに販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
9 9 1	ファンほこりづまり異常	給湯、湯はりが使用できない状態ですので、すぐに販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。



### リモコン表示ランプが点滅しているときは

この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）  
 エラーコードの点滅解除は、**運転**スイッチを押します。  
 機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード（300, 311, 331, 721, 611, 310, 700など）が表示される場合は、ご自分で修理なさらなくて、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。  
 使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、22ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

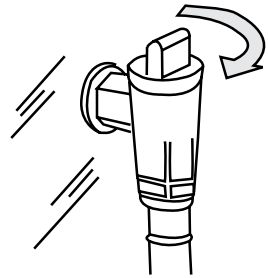
## 次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理 由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後7分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
お湯はりまたは、たし湯を始めるとふるアダプターからポコポコ音がして泡が出る。	お湯はり配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのものです。しばらくすると出なくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約2ℓ分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯がでない。	夏期水温が30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
自動お湯はり時間が長い場合がある。	自動お湯はり中、給湯を使用すると、自動お湯はりをいったん停止します。給湯使用時間分、自動お湯はり時間が長くなります。

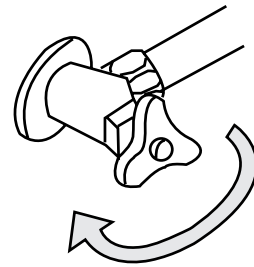
# 長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

## 1. ガスの元栓を閉じる。



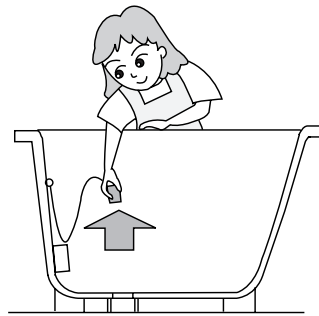
## 2. 給水元栓を閉じる。



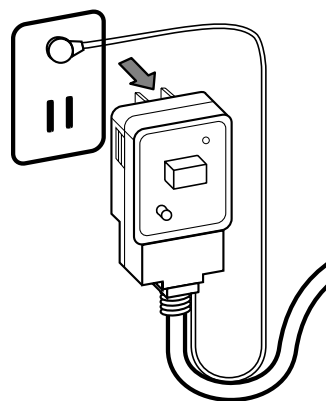
## 3. 機器の水抜きを行う。

水抜きの手順

- (1) 給水及び給湯配管途中の接続部を外す。
- (2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。
- (3) 浴そうの水を排水する。

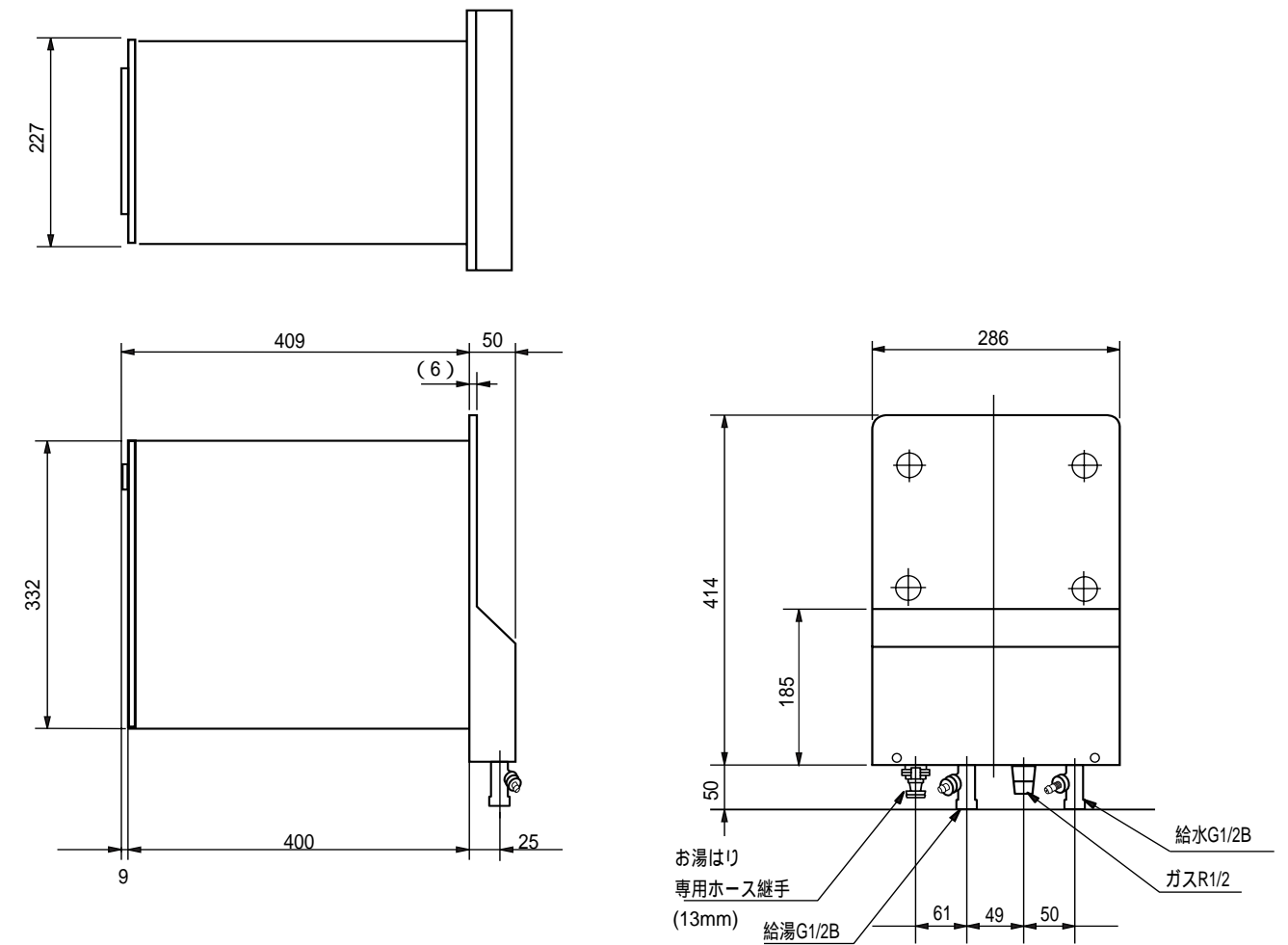


## 4. 電源プラグをコンセントから抜く。

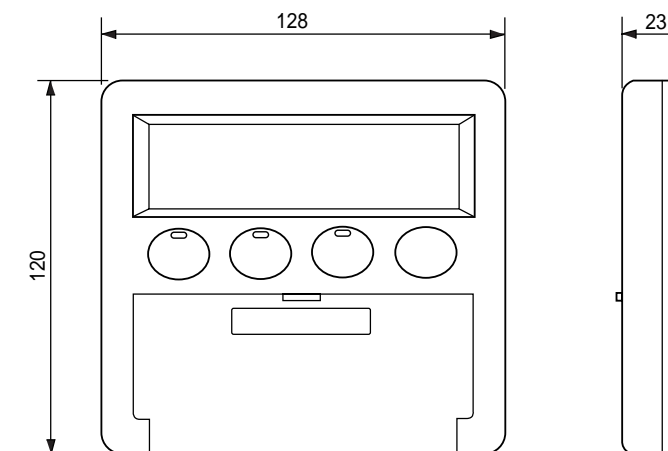


# 寸法図

本体（この図は133-4809型です）



リモコン（浴室、台所共通）





# 仕 様

仕 様 表

項 目		仕 様		
外形寸法 (本体)		幅286×高さ464×奥行459mm		
壁貫通部寸法		幅227×高さ332×奥行409mm		
質 量 (本体)		18 kg		
接続寸法	ガ ス	R1/2 (TU接続)		
	給水・給湯	G1/2B		
	湯 は り	湯はりホース継手(15mm)		
標準ガス消費量 kW	ガ ス 質	13A (kcal/h)	LP (kg/h)	
	給湯	最 大	34.9 (30,000)	34.9 (2.50)
		最 小	5.8 (5,000)	5.8 (0.42)
電気定格	電 源	AC100V (50/60Hz)		
	消費電力	使用最大: 65 W		
	凍結予防用ヒータ	48 W		
最低作動水圧		19.6 kPa (0.2kgf/cm <sup>2</sup> )		
使用水圧		53.9 (動水圧) ~ 784kPa (0.55~8kgf/cm <sup>2</sup> )		
制御システム	給 湯	フィードフォワード+フィードバック式ガス比例制御		
	ファン制御	DCファンによる回転数制御		
排 気 温 度		260 以下		
安 全 装 置		<ul style="list-style-type: none"> <li>・立消え安全装置</li> <li>・過熱防止装置</li> <li>・ファン回転検知</li> <li>・沸騰防止装置</li> <li>・漏電ブレーカー</li> <li>・過圧逃し弁</li> <li>・残火安全装置</li> <li>・凍結予防用ヒーター</li> </ul>		

出湯能力 \*印は換算相当出湯能力を示す。

ガ ス 種	標 準 号 数 (号)	温度上昇と標準出湯量 ( Q / 分 )					
		水温 + 15	水温 + 25	水温 + 30	水温 + 40	水温 + 50	
13A、LP	能 力 大	16	*26.7	*16.0	13.3	10.0	8.0
	能 力 小	2.5	4.1	2.5	-	-	-

上記数値は計算値です。

# アフターサービスについて

## アフターサービスのお申し込み

サービス(点検・修理)を依頼される前に

「故障かな?と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品 名 . . . . . パックイン
2. 大阪ガス商品コード . . . 器具の全面右上部に貼付してあります
3. 故障、異常の現象、エラーコード . . . . . できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号、道順

例)

**(N) 133-4809**  
大阪ガス株式会社

## 転居される場合

ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

## 保証・補修について

保証期間中の故障修理について

保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証期間経過後の故障修理について

買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。